

仏事に願いを込めて

# ご門徒さんと朝のお勤め



晨朝勤行(朝のお勤め)して  
いますか?これからの季節、特に朝  
は冷え込むこともあり、本堂(お  
内仏)へ足が遠のいてしまうこと  
もあるのではないのでしょうか。し  
かし、ご門徒さんが自主的に集ま  
り、朝のお勤めをされているお寺  
があると聞き、勝善寺様(千葉組  
井上孝昌住職、悦子坊守)とご門  
徒さんにお話を伺いに行ってきました。  
取材は10月中旬。連日の雨  
と寒さにも関わらず、朝の6時前  
からご門徒さんが集まってきまし  
た。当初は6時30分開始だったそ  
うですが、皆さんが早く揃ってし  
まったため15分早く始まるよう  
になったそうです。



お勤めの様子  
14名お勤めに来られました  
きちんと略肩衣を着用しています

【式次第】  
先 総礼  
次 正信偈(草四句目下)  
次 念仏・和讃  
次 回向  
次 総礼  
御文  
3分法話

式次第は以下の通り。

最初に朝のお勤めを始めたくっかけを、ご門徒の川名さんに伺いました。



川名喜昭さん  
お勤めを始めて6年経ちました

## 経緯

川名 私は平成18年に仕事を退職しました。退職した途端に千葉組門徒会の副会長になったのです。東京教区（真宗会館）や本山へ行くことがしばしばあったのですが、なかなか「正信偈」を覚えられなかつたんです。隣に座った人が唱えていると、いつかはそうなりたいと思っていました。

副会長を辞めてからは「正信偈」を覚えようと住職に勤行のCDをもらったり、女房と2人で勝善寺の朝のお勤めへ来て半年ぐらい練習していました。

「御文」も拝読していただくのですが、なかなか理解できないので、「内容をわかりやすくお話ししてください」とお願いしました。

お話を聞き、非常にいいなと思つて、少しでも仲間を増やしたいと皆さんをお誘いしました。週に1回ですが、月曜日に行い一週間の生活をスタートすることにしました。

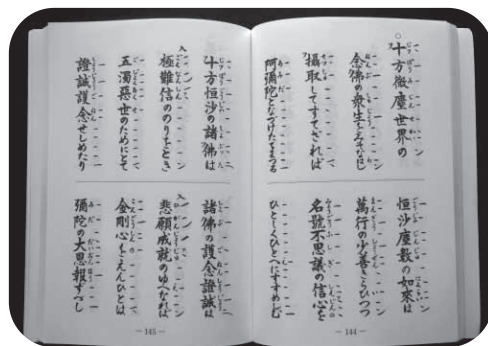
今はまだこの時間は明るいですが、真冬になると真つ暗で、お寺さんに来ても電気が点いていない(笑)時があつたりしたこともありますが、今では生活の一部になりました。

住職が一生懸命親鸞聖人の教えを話してくださるので、門徒としても一緒に協力しなければお寺は活性化しない。門徒が活性化しな

ければお寺も活性化しない。私はこの両輪が大切だと考えております。

——空(そら)で正信偈をお勤めしている方もいらつしやつたように見えますが。

住職 ほとんどの方ができると思っています。



勤行本『増補 真宗大谷派勤行集』  
和讃は『三帖和讃』を同朋奉讃で繰り読みしています

川名 私は毎日CDに合わせてお勤めをしています。真宗宗歌から始まって、2番にいい歌詞がありますので3番まで。そして正信偈恩徳讃で終わり。

住職 真宗宗歌の2番に「六字のみ名をとなえつつ 世のなりわいにいそしまん♪」という歌詞がありますが「ここがすごくいいんですよ。ここを歌わないでどうするんだ」と川名さんからお叱りを受けます(笑)。この寺では3番まで歌うことになっているのです。

——きちんと言葉をいただいているのですね。

## 習慣

——朝のお勤めは毎日続いているのですよね。どういうお気持ちで来られるのですか？

谷 私は4年になるのですが、川名さんから誘われまして、最初は冬場ということもあり続かないだろうと思つてお断りしたんです。翌年の春になって、やっぱり行こうと思ひまして、それから続けております。

——毎週あるのがよいのです

か？

谷 規則正しくなりました。歳をとるとどうしても生活が乱れてくるものですから、ちようど月曜日は区切りとしていいかなと思います。

—— 今朝（取材当日）は特に寒かったですよ。今日ぐらいいはサボってもいいかなと思ったりすることはありますか？

谷 一番困るのは雨の日ですね。私は車を持っていないのですけれども、誘われて車に乗せていただいて。

—— 皆様どの位の距離からいらっしやるのですか？

川名 私は近い方で、車で5分位。皆さん車で来ます。

—— 15キロほど離れている方がいらっしやるそうですが。

住職 関口さんは、車で20分。田中さんはすぐそばだね。鈴木さんは10分くらい。今年得度されたんです。

—— 得度してから何か変化は？

鈴木 特別何が変わったかといつても、僧侶が何かを自分ではまだ理解できていないし、ただ、本堂の外陣に座れるのがひとつ変わったかなというくらいで、まだよくわからないです。

—— 公務員をされていたということですが。

鈴木 そう、もう退職して1年半が過ぎました。この朝のお勤めについては、現役中は厳しかったので、退職してからお邪魔するようになりまし。普段来るときに、「今日は月曜日だな」というイメージは私もありますね。ここでお仲間とお会いできるということが、とってもいいことかなと思っ

ています。



鈴木正一郎さん  
今年5月に得度しました

—— 得度されたなら、住職に代わって調声をされたりすることもできるわけですよ。

鈴木 それはちよつと…。

住職 月曜日に私がいない時にお願しようとは思っています。

住職 ふじ子さん（川名夫人）は苦労があるのではないですか。

川名夫人 日曜日に、明日は月曜日だなと自分に言い聞かせるんですよ。遅れないように携帯電話で目覚ましを掛けておくんです。

—— 勤行本をすごく丁寧に物に入れておられますよね。そういう姿勢にすごく感銘を受けました。自分自身すごくしつかりしなければと改めて教えていただき

ました。



とても丁寧に扱っていましたが、畳の上に直に置いたりしません

## 推進員養成講座

住職 関口さんと鈴木さんは今から12年前の推進員養成講座を千葉組で行った時に参加されました。

そして、そのことがきっかけとなって同朋の会が発足しました。

関口 2006年に推進員になり、鈴木さんらと力を合わせ同朋の会を結成しました。

—— 推進員養成講座の影響は大きいですね。

住職 はい。寺を聞法の間とするきっかけとなりました。一緒に聞法する仲間が増えていくのが一番

で、立ち消えになってしまったりもあると聞きます。続けていくのは大事ですよ。

住職 10人ほどで細々続けます。

—— 生活の中でお朝事があるということですね。

住職 お朝事が終わると何人かお



帰りになりましたが、皆さんはこれから仕事があるんです。

**坊守** 先ほどお帰りになった田中さんは、農作業をしながら鼻歌で「正信偈」を歌うそうです(笑)。

なかなかそういう方はいらっしやらないでしょうね。報恩講の感話でそう話していました。

**川名夫人** お勤めを私たちでもできるのが、すごくうれしいです。

**川名** お朝事だけでなく、お寺の行事に参加する人が多くなりました。例えば参道に彼岸花を植えた、掃除をするとか、そういう参加が非常に多いですね。

**住職** 今年60本の桜の木を植えたんです。その時も30〜40名おいでになりますから、ご門徒とお寺との関わり合いが多くなりました。

**坊守** ここに来て31年になるのですけど、ずいぶん変わったと思います。あまり褒めたくはないのですが、やはり住職が努力してきたと思います。

**住職** 今年が住職となり11年目。

私が教員を辞める前年に、千葉組が本山から推進員養成講座を実施する組に指定され、推進員が誕生し、「同朋の会」ができたんです。教員を辞めた年に川名さんが定年退職されて門徒会員になり、いきなり千葉組門徒会副会長になった。全部ご縁です。阿弥陀さんのひとりばたらきです。

## 梵鐘

**住職** 寺に来る途中の鐘楼に気が

つきましたか？寺のある谷間から出た高台にありますよね。それはこの集落の人びとに梵鐘が聞こえたら家を出発してください。もうすぐ法要が始まりますと合図するためなのです。報恩講などの法要のように、やがて月曜朝のお勤めでも梵鐘を突いたら近隣のご門徒が集まってくるようにしたいです。そして先ほど川名さんが話してい

たように、お朝事が一日のスタート一週間のスタートになり、この習慣が相続されていったらいいなあと夢見ています。



勝善寺は三方を山に囲まれています



梵鐘



「ご門徒さんが帰られた後に、改めて住職と坊守さんに伺いました。



井上住職  
「習慣化するってすごいことですよ」

**住職** この寺に生まれて小学4年生ぐらいまでは、祖父と父と一緒に朝事をして、そして朝食。そういう習慣でした。しかし反抗期になった時に「こんなことやられるか」と、止めてしまいました。結婚しても始まらなくて、子どもの得度が視野に入って来た時になり、ようやく始めました。しかし子どもたちがだんだん大きくなってくると、今度は学校に行かなければならないから、家族みんなで出来ない状況に。

**坊守** 中学高校時代は部活動の朝

練で早く送り出さなければならぬ  
いんです。



井上坊守  
「子どもの成長の時って  
一番難しいと思います」

住職 「皆でお朝事をしましょう」

と言っても、なかなか難しいこと  
です。習慣が、大事なことを伝え  
ていくのだなと感じています。

言葉というのは別の伝わり方。

私の場合だったら反発という形で  
した。「べきだ」というのは素直に  
伝わらないですよ。

坊守 お朝事の会も川名さんの存  
在がすごく大きいです。何をやる  
にも積極的です。一人ひとり声を  
かけて、この人数になってきたん  
です。

住職 門徒さん方は、こつちが「来  
い」と言っても、宣伝しても来な

いですよ。

坊守 自分と同じ門徒から声をか  
けられたら「行ってみよう」と。

—— そういうリーダー的な人が  
いるといいですよ。

坊守 川名さんはじめ門徒の方々  
が寺のために一生懸命にやってく  
ださいます。

—— ご門徒さん同士の横のつな  
がりがあるのはよいですね。

坊守 そうです。住職が誘っても  
ダメです。ご門徒さんが誘ってく  
ださることで腰を上げてくれます。

—— ありがとうございます。



## 取材を終えて

お話を伺う中で、改めて朝のお  
勤めが大切だと感じました。また  
寺族と門徒、両輪でお寺は支え合  
って行くものであるということをも  
教えられた気がします。

これは東京教区「御遠忌記念大  
会」の大会宣言にもきちんと明記  
されています。自身の確認の意味  
も込めて以下に掲載します。

(取材／柳澤・大山・海)

## 東京教区

### 「宗祖親鸞聖人750回御遠忌記念大会」

#### 大会宣言

#### 【基本課題】

僧俗ともに真宗門徒として聞法をいのちとし、信心をあきらかにしよう。

#### 【実践項目】

1. おつとめ…「本尊を生活の中心とし、お朝事のおつとめから」  
日を始めよう。
2. 同朋の集い…すべての寺院で同朋の会を結成しよう。
3. ご縁づくり…子ども会やいろいろな催しを通して、地域をはじめ、  
広く社会に仏法を伝えていこう。
4. 真宗の生活…戦争、差別、貧困、災害や環境など、さまざまな問  
題を抱えるこの現実を真宗門徒としていかに生きる  
のか、仏道に尋ねていこう。

(2014年6月)